

# ほっと一息 森 民夫

## 第19回三年間の連載を終えて

千雅さんにマイスキップに連載してほしいと依頼されたのは、確か今から3年半前の春だったと思います。私の近況を知りたいという方がいらっしやるので近況報告をぜひお願いしたいということでした。幸い豊口協先生と隔月ということでしたので、それなら何とか書けると思ってお引き受けしました。コラム名は千雅さんのご意見で「ほっと一息」としました。

第1回目がちょうど3年前の12月号。まずは近況報告ということで、「最近の暮らし」と題し、東京での暮らしや大学での講義の様子を書きました。東京の家の近くの池上本門寺内の「力道山のお墓」の写真のインパクトが強かったようで、多くの方に面白い写真を見たよと言われました。

以来、3年間で18回の連載に加え特別寄稿「長岡花火―私の誇り」を掲載していただき、この原稿が合わせて20回目の掲載になります。なかでも、思い出に残る寄稿は、大林監督との思い出で、第3回の「大林監督が紡いだ絆」、第6回の「大林監督の新作ロケ現場へ」、第11回の「大林監督の新作ロケ現場へ」と3回書かせていただきました。また、長岡花火について



は、特別寄稿をはじめ折に触れて書きました。また、亡くなられた稲川明雄さんと河井継之助記念館については第13回と14回の2回。

そのほか、社団法人地方行政リーダーシップ研究会の設立と活動、新潟県財政改革と有識者会議の様子、「新型コロナ対策と首長のリーダーシップ」、著書「コロナ時代の新しい暮らし」の出版等の比較的堅い内容のものが多かったと思います。一方で、「猫に懐かれるようになった今日この頃」や「ドタバタ单身生活」等の柔らかい内容のものも書きましたが、皆さんの評判はこちらの方が良かったようです。今振り返ってみると千雅さんのおかげで近況について、あまねく書かせていただいたように思います。本当に良い機会を与えていただきました。感謝！

それにしても、渡辺千雅さんの行動力には只々感嘆するしかありません。マイスキップを20年間発行し続けたバイタリティーはどこから出てくるのでしょうか？大林監督への長岡花火映画の制作依頼、長生橋のライトアップ、12月8日の平和の花火の打ち上げ等々とも書ききれません。マイスキップを「休刊？」した後、あの有り余るエネルギーはどこに向かうのでしょうか？皆さん！まあ千雅さんが一休みして充電した後、新たに立ち上がる日を楽しみに待つことにしましょうか。



大林監督の遺作「海辺の映画館―キネマの玉手箱」のロケ現場（広島県福山市）



池上本門寺内にある力道山の銅像前で



↑私とアポロ → 河井継之助記念館オープン式テープカット。左から羽賀龍介、私、



故・中村勘三郎、故・原信一、牧野忠昌の各氏



### 森 民夫 Tamio Mori

1949年長岡市生まれ。前長岡市長、元全国市長会長。現在、筑波大学、近畿大学客員教授。東京大学、長岡造形大学非常勤講師。「(一社)地方行政リーダーシップ研究会」代表理事として市町村長を対象にしたセミナーを開催中。

# 時の忘れもの

## ●時の151：自筆サイン

### 佐藤 秀治 Hideharu Sato

1947年長岡市(栃尾)生まれ。美術家。古美術商。栃尾文化遺産研究室主宰。著書に「鬼の系譜」「鬼で読み解く江戸川柳」などがある。長岡市在住。

書画に在銘や押印が必須なのは、弟子が師匠超えを競い合う画塾の存在があったからで、西洋画では写実的特化した古典主義派や自然主義派の写実表現でもはつきりとした画塾はなく、勝手に模写して描画力を身に付けてさらなる上を目指す。この差は大きく書画の画塾では技術向上は師匠に次ぐレベル、寸分違ひなく師匠の胸中を模倣しては近づき、決して超えてはならない寸止めの修行であり、師匠が弟子の突き付けた結果に危うさを察知したとき、一本立ちを許可し、そこから自力で画風を立ち上げるといふ世界で、西洋画ではキュービズムやシュールリアリズムしかり、点描法や空気遠近法など技法やダダイズムなどの運動集団として括られても独自性が命であり人と類似することはなく、サインは描かれるものの真贋証明でもない。勿論模写し贋物造りの御仁はこの世界にもいる。文化の異なりです。

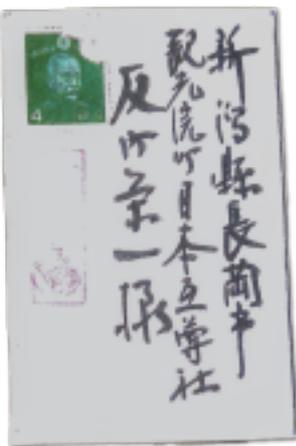
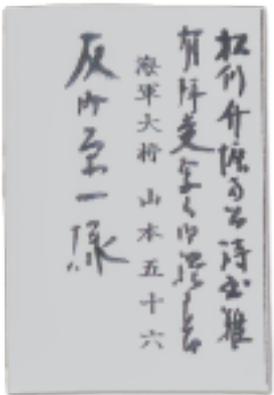
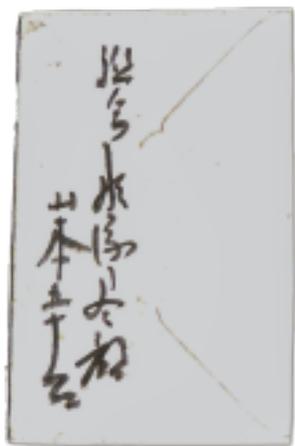
田舎暮らしでは、直に「サインを下さい」と戴く機会は少ないもの。上梓本や交換書簡で戴いたものなど様々なシーンがありますが、色紙に書かれたもの、大量印刷されたものなど様々です。

さて、今回紹介する自筆サイン物は山本五十六のもので、五十六の友人であり研究者でもあった反町栄一宛てで、白地の小封筒の表に「新潟県長岡市観光院日本互尊社反町栄一様」と五十六墨書きの自筆あり、額面四銭の東郷平八郎の緑色の切手に消印なく「検閲済み」の長型四

角朱印に検閲官福崎の印があり、封の裏は「連合艦隊司令官山本五十六」とあり住所は記されていない。封の中には、中央に印字された名刺「海軍大将山本五十六」の左右に反町氏への書画の御札を添えたもので、代筆でなく貴重な信書と考えられます。

また、自筆サイン物では珍なる体験がありました。二十歳のころ有楽町駅高架下のセンター商店街と記憶しています。買い物途中の水色の縁取り白い覆面レスラーと遭遇し、チャンス逃すまいと記念のサインを求めました。手持ちの小さい手帳に万年筆で「The Destroyer」と書かれ、嬉しかったのですが、肩書大学教授のインテリレスラーの片鱗で余白に「ザ・デイス トロイヤー」とカタカナを添えられた為、後で自分が書いたのだらうと信じてもらえず、贋物扱いに閉口しました。

さて、次回から本誌「休刊」に伴いお休みとなります。本エッセイを長い間ご支援いただき感謝申し上げます。再刊の折には更に奥深いマニアックな蒐集世界へとご案内させて戴きます。ご期待ください。



Think Tank For Geotech  
**OMNI**

調査・解析・設計・施工をシステム施工、私たちは基礎地盤の専門頭脳集団です

地質調査・地盤改良設計・構造計算  
**オムニ技研株式会社**  
本社／新潟県長岡市新産東町48番地 〒940-2126  
TEL.0258-21-0016  
FAX.0258-21-0026  
E-mail: info@omnigiken.co.jp http://www.omnigiken.co.jp

新潟営業所 / 上越営業所 / 郡山営業所 / 熊谷営業所  
高崎営業所 / つくば営業所 / 静岡営業所 / 甲府営業所  
北陸支店 / 金沢営業所 / 資材配送センター / 工務事業部

壮大な景観に向かって打ち込む、刺激的かつ繊細な魅力のコース

**GREENHILL**  
**長岡ゴルフ倶楽部**

●グリーンヒル長岡ゴルフ倶楽部  
〒940-0822 新潟県長岡市柿町 4221  
TEL : 0258-23-8088 FAX : 0258-23-8077

**ドローン企画**  
**新潟イノベーションセンター**

代表 児玉 誠一 連絡先：携帯 090-2492-5448  
長岡市北園町 7-1